



本庁から飛び出し  
現場で汗をかく

熊本国税局 熊本西税務署  
個人課税部門 国税調査官

## 齋藤 聖也

●令和6年入庁  
国税庁企画課を経て  
令和7年から現職。

### 現場の思いを胸に

税務署での調査以外にも、確定申告会場での税務相談や国税の滞納整理、査察調査など、国税に関する業務を幅広く経験させていただきました。

税務行政の最前線における様々な経験を通じて、それぞれの現場における地道で困難な業務の延長線上に適正・公平な税務行政が成立するということを実感とともに学ぶことができたように思います。今後のキャリアを通して、現場で感じた問題意識をより深め、本庁での企画立案に活かせるよう精進していきたいと思っています。



### 税務署の仕事

私は現在、熊本西税務署で個人事業者の税務調査に従事しています。税務調査では、納税者の自宅や事業所へ赴いて事業内容の聴取や帳簿書類の精査等を行い、所得・消費税の申告内容に誤りや不正がないか確認します。

税務調査においては、納税者との信頼関係の構築や調査展開に悩むことが多いですが、知識・経験ともに豊富な上司や先輩方に支えていただきながら、より適正・公平な税務行政の実現に向けて日々前向きに取り組んでいます。



変わらぬ使命

国税庁 課税部 法人課税課  
監理第二係 実査官

## 佐藤 拓弥

●令和5年入庁  
国税庁人事課、  
鹿児島税務署  
個人調査官を経て  
令和7年から現職。

### 国税庁総合職として

国税庁総合職は、5万6千人の職員それぞれがもつ経験や知識にふれ、多くを学ぶことができる点に大きな魅力があると思います。まだ短い職業人生ですが、これまでもたくさんの方々との出会い、ともに働くことができたことは大きな財産であり、これからの出会いもとても楽しみです。

税務行政は今後どうあるべきなのか、入庁時に抱いていた国税庁への想いを忘れることなく、これからも日々精進したいと思っています。



### 法人課税の仕事

「正直者には尊敬的、悪徳者には畏怖的」という言葉にあるように、国税組織は、誠実な納税者からは尊敬の眼差しを向けられ、不誠実な納税者からは畏られる存在でなくてはなりません。そんな存在であるために、法人課税課では、AIやデータ分析を活用して不正を働く納税者に対峙しています。係員という立場でありながら、日本全国の法人に対して、適正・公平な課税を実現するべく、その一端を担っていることに、責任とやりがいを感じています。

税務署  
調査官/  
国税庁係員

国税庁係長

国税庁  
課長補佐/  
税務署長

国税庁  
企画官/  
国税局部長

国税庁課長

国税局長/  
国税庁部長



幅広いフィールドで  
活躍できる人材に

国税庁 長官官房 国際業務課  
国際協力係 係長

## 松元 奈々子

●令和4年入庁  
国税庁総務課、川口  
税務署法人調査官、  
国税庁徴収課を経て  
令和7年から現職。

### 熱い先輩方に憧れて

「税」という専門性を持って働けること、国税庁は日本を根底から支える組織であること、そして何より説明会や官庁訪問で出会った先輩方の税務行政への熱意に心を打たれ、国税庁への入庁を決めました。国税庁は、局署の事務運営から国際会議への参加まで、若手のうちから様々な業務に挑戦できる環境が整っており、自分自身を日々アップデートできる職場だと思います。皆さんと国税庁でお会いできることを楽しみにしています。

### 国際的な舞台へ

私は現在、国際業務課の国際協力係長として、多国間の国際会議や二国間の会合の調整や実施に関する事務を行っています。外国税務当局との交流の中で、国税庁の使命である「内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収」を実現するには時代の潮流に沿った国際課税制度の構築や、多国間での協調が非常に重要だと実感しています。



国税庁審議官(中央)とともに国際会議に臨む松元係長(右)



＜公共性×専門性＞

国税庁 課税部 資産評価企画官  
評価実務担当 チーフ

## 奥田 慎司

●令和2年入庁  
国税庁総務課、財務省主計局主計企画官付調整一係長、  
国税庁人事課企画係長などを経て令和7年から現職。

て、入庁から6年がたった今振り返っても、当時の自分の判断について間違っはなかった、むしろ、出向などの経験を経て、より強く国税庁総合職の面白さを感じています。



### 国家の基盤を守り、知識を磨く仕事

国税庁総合職の魅力は、生活のあらゆる場面に関わるとともに、国家を支える重要な基盤でもある税制の適正な運用を支えるという高い「公共性」と幅広く、そして、奥深い「税」という分野についての「専門性」の両立ができることです。

就職活動当時、漠然と「世の中のためになるような仕事をしたいな」、「仕事を通じて専門知識も磨きたいな」と考えていた私の目に、国税庁総合職はまさに一石二鳥に映り、国税庁に入庁しました。そし

社会経済の変化に合わせて、日々の暮らしに密接にかかわる税制の在り方を考える。公共性×専門性が魅力の国税庁総合職、私自身もまだまだ専門性を磨く途上ですが、少しでも面白そうと思っていただけの方は、是非、説明会や官庁訪問にお越しください。ここでは書ききれない、私たちの仕事の魅力をお伝えします！